

土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会
(第25期・第5回) 議事要旨

開催日時 2021年12月28日(木) 10:00-12:20

開催場所 遠隔会議

出席者 赤松佳珠子, 伊香賀俊治, 伊藤香織, 大岡龍三, 小野悠, 齋尾直子, 齊藤大樹, 佐々木葉, 定行まり子, 高橋良和, 竹内徹, 竹脇出, 田村和夫, 前川宏一, 増田聡, 南一誠, 三輪律江, 望月常好, 山本佳世子, 渡邊朗子

欠席者 緑川光正

参考人 大西隆

配付資料

- 資料0 議事次第
- 資料1a 日本学術会議 パンデミックと社会に関する連絡会議
- 資料1b 第1回連絡会議出席者
- 資料2 SWG1_海外アンケート要約
- 資料3 SWG4_SWG2・5 資料
- 資料4 SWG6 資料
- 資料5 越境する若手科学者分科会 WS 企画案
- 資料6 大西氏資料「感染症蔓延の経験は国土・都市の構造を変えるのか？」

議題等

1. パンデミックと社会に関する連絡会議(第1回)報告

竹内委員長から、2021年12月に開催された第1回パンデミックと社会に関する連絡会議の報告があった。66の分科会等が参加しており、様々な分野の横断的な議論を促進していくこと、分科会等の活動は概ね「医療・研究体制」と「社会変革」に分けられ、今後はある程度近い分野で議論を進めていくことなどが報告された。

2. SWG1 アンケートの紹介

竹内委員長から、SWG1(総括・国際)のアンケート結果の概要の報告があった。23カ国40名から回答があったこと、2020年時の生活・働き方・教育状況に関する質問「コロナ後の生活・ワークスタイル・教育方法に関する意見」に関わる各質問項目に対する回答の基礎集計や回答例が紹介された。

3. 各SWGの活動報告

- ・ SWG4(情報)幹事の山本委員から、感染症・災害対応に関する情報管理についてマ

ッピングする検討状況について報告があった。竹内委員長から、今後 SWG6（防災）からの意見も取り入れられると望ましい旨のコメントがあった。

- ・ SWG6（防災）幹事の高橋委員から、防災科学技術研究所及び内閣府から発出されている新型コロナウイルス感染症の状況下での災害に関する情報の更新状況について報告があった。情報共有に関して、国の方針に対して都道府県や基礎自治体等での運用の難しさについての議論があった。

4. 若手アカデミー公開ワークショップ「縮退時代において、20年後のまち・社会を考える～宇宙×都市×遺伝子×生態～」(仮)共催について

若手アカデミーの幹事も務める小野委員から、標記の公開ワークショップについて説明があり、本分科会も主催に名を連ねることが承認された。

5. 話題提供：大西隆氏「感染症×都市×情報通信 感染症蔓延の経験は国土・都市の構造を変えるのか？」

日本学術会議元会長で連携会員の大西氏から標記の話題提供があった。コロナ禍におけるテレワークの普及及びコロナ禍で注目されるデジタル田園都市に関わる話題が紹介され、コンパクトシティに代わる現代の田園都市では ICT 活用がキーになること、英国の元祖田園都市がそうであるようにバランスのとれた人口年齢構成で持続的な成長につながるのかに注目すべきである点が示された。委員からは、インフラ、オフィス、都市人口等の都市の物的な側面に ICT 活用がどのように影響するかなどの質問があり、意見交換が行われた。

6. その他

次回分科会は 2022 年 3 月を目処に開催すること、その際に話題提供する委員を募ることが確認された。

以上